

I 令和5年度事業報告書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

1. 会 員 数

| | | |
|------------|------------|------|
| 令和5年度期首会員数 | 令和6年度期首会員数 | 期中異動 |
| 363名 | 368名 | 5名 |

2. 実施事業

(1) 行 事

1) 会員例会

委員長 中川 正之
副委員長 加知 康之

| 開催日等 | テーマ | 講 師 |
|-------------------------------|---|---|
| 4 月 例 会 〈R5.4.27〉 | 「わが国の金融政策と財政再建の 行方」 | (株)日本総合研究所調査部主席研究 員 河村 小百合 氏 |
| 岐 阜 県 サ ミ ッ ト 〈R5.5.31〉 | ーサミット記念講演会ー 「DX時代の経営と地方経済」 | 東京大学大学院経済学研究科教授 柳川 範之 氏 |
| | ー岐阜県サミットー | <ゲスト> 岐阜県副知事 河合 孝憲 氏 |
| 6 月 例 会 〈R5.6.26〉 | 「広島サミット後の国際情勢につ いて」 | 大阪大学特任教授 藪中 三十二 氏 |
| 7 月 例 会 〈R5.7.27〉 | 「雇用流動化の現状と生産性向上 への課題～人材不足に立ち向かう 『画的連携』を～」 | 法政大学経営大学院イノベーション・マネ ジメント研究科教授兼(株)日本総合研 究所客員研究員（前副理事長） 山田 久 氏 |
| 8 月 例 会 〈R5.8.23〉 | 「宇宙ビジネスの最新動向と注目 される月ビジネス」 | (株)三菱総合研究所フロンティア・テクノロジー 本部フロンティア戦略グループグループリーダ ー主席研究員 内田 敦 氏 |
| 9 月 例 会 〈R5.9.22〉 | 「中小企業からイノベーションを 起こすために～日本経済リスクから 考える～」 | エコノミスト 崔 真淑 氏 |

| | | |
|---------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 10月例会 〈R5.10.17〉 | 「わが国の財政について」 | 神奈川大学特別招聘教授 矢野 康治 氏 |
| 11月例会 〈R5.11.27〉 | 「コロナ後の経済政策『失われた30年』脱却への展望」 | 慶応義塾大学経済学部教授 小林 慶一郎 氏 |
| 12月例会 〈R5.12.18〉 | 「AI（人工知能）でビジネスはどう変わる？」 | 国立大学法人電気通信大学副学長・情報理工学研究科教授 坂本 真樹 氏 |
| 1月例会 〈R6.1.22〉 | 「2024年の経済の見通し」 | (株)第一生命経済研究所経済調査部主任エコノミスト 星野 卓也 氏 |
| 2月例会 〈R6.2.19〉 | 「人生に効く脳科学～脳が創り出す男女のミゾ、人生の波」 | (株)感性リサーチ代表取締役社長 黒川 伊保子 氏 |
| 3月例会 〈R6.3.27〉 | 「中国経済情勢」 | (株)野村資本市場研究所シニアフェロー 関 志雄 氏 |

2) 産学官懇談会

委員長 澤田 栄
副委員長 堀 富士夫
副委員長 杉谷 尚志

| 開催日等 | テーマ | 講師等 |
|----------------------|----------------------------------|---|
| 第1回講演会 〈R5.8.4〉 | 「チャットGPTは未来の雇用・経済をどう変えるか」 | 駒澤大学経済学部准教授 井上 智洋 氏 |
| 第2回講演会 〈R5.10.27〉 | 「中部地域の産業の展望と課題」 | 経済産業省中部経済産業局長 寺村 英信 氏 |
| 視察 〈R5.11.14〉 | 視察先：「日進木工(株)」「(有)船坂酒造店」「飛騨高山蒸留所」 | 「日進木工」では、家具づくりで培った『曲げ木』という高度な技術を活かして作るウイスキー樽の工場見学、「飛騨高山蒸留所」では廃校となった小学校を活用し設立した岐阜県初のウイスキー専門蒸留所を視察。 |
| 第4回講演会 〈R6.2.14〉 | 「なぜ若者はすぐ辞める？Z世代の活かし方・育て方」 | (株)V字経営研究所代表取締役 酒井 英之 氏 |

3) 幹事会

| 開催日 | 内 容 | ゲスト |
|-----------|-------------------|-----------------------|
| <R5.9.11> | 「最近の金融経済情勢と今後の展望」 | 日本銀行名古屋支店長 廣島 鉄也 氏 |
| <R6.3.18> | 古田知事との意見交換会 | 岐阜県知事 古田 肇 氏 |

4) 地域懇談会

① 中濃地域懇談会

| | | |
|-----|-----------------------------|--|
| 開催日 | 令和6年3月6日 | |
| テーマ | 「最近の経済情勢等について」 | |
| 講 師 | 財務省東海財務局岐阜財務事務所長 石川 哲才 氏 | |
| 参加者 | 12名 | |

② 飛騨地域懇談会

| | | |
|-----|-----------------------------|--|
| 開催日 | 令和6年3月14日 | |
| テーマ | 「最近の経済情勢等について」 | |
| 講 師 | 財務省東海財務局岐阜財務事務所長 石川 哲才 氏 | |
| 参加者 | 10名 | |

③ 東濃地域懇談会

| | | |
|-----|---------------------------------|--|
| 開催日 | 令和6年2月8日 | |
| テーマ | 「健康長寿に役立つ予防医学～生涯元気に歩き続ける体づくり～」 | |
| 講 師 | 岐阜大学医学部附属病院長・整形外科学教授 秋山 治彦 氏 | |
| 参加者 | 50名 | |

(2) フォーラム事業

1) 企業経営フォーラム

委員長 嶋崎 吉弘
副委員長 澤田 伸彦

| | |
|------|---|
| 目的 | <p>変化の激しい時代のなかで、企業経営は柔軟かつスピーディな対応を余儀なくされているため、企業経営の最新トレンドや直面する様々な課題について理解を深めるとともに意見交換する。なお、必要に応じ、国内外の先進企業などを視察する。</p> |
| 活動経過 | <p>■第1回フォーラム 令和5年10月4日 ・講師 (株)キーエンスデータアナリティクス事業グループ マネージャー 柘植 朋紘 氏</p> <p>・テーマ【10のキーワードで見る「キーエンスの経営」～営業利益率50%を生み出す舞台裏～】</p> <p>■視察 令和5年10月30日～31日 ・視察先 山形県 極細の毛糸を使用したニットを製造し、世界の高級ブランドで採用されているメーカー「佐藤繊維(株)」の視察。 立石寺、蔵王地蔵尊、将棋むら天童タワー見学など。</p> <p>■第2回フォーラム 令和6年2月28日 ・講師 元オリエンタルランド専務取締役 奥山 康夫 氏</p> <p>・テーマ「東京ディズニーランドの挑戦！」</p> |

2) 同友フォーラム

委員長 矢嶋 薫

| | |
|------|--|
| 目的 | <p>会員のニーズに対応するほか提言関係事業と連動して、社会に生起する諸課題について理解を深めるとともに意見交換する。</p> |
| 活動経過 | <p>■第1回フォーラム 令和6年3月4日 ・講師 第一生命経済研究所経済調査部主席エコノミスト 西濱 徹 氏</p> <p>・テーマ「インドは中国に代わる世界経済のけん引役となれるか～インドへの『期待』と『実像』を概観する～」</p> |

(3) 提言関係事業

1) 労働市場の流動化を考える委員会

委員長 井手口 哲朗
副委員長 藤吉 友子

| | |
|------|--|
| 提言名 | 「三位一体の労働市場改革」への意見 — 地方の中小企業の人材確保を後押しする政策を — |
| 活動方針 | 政府が打ち出した「三位一体の労働市場改革」について協議し、必要な施策を提案する。 |
| 活動経過 | <p>■第1回委員会 令和5年7月21日 ・テーマ 「三位一体の労働市場改革」</p> <p>■第2回委員会 令和5年9月26日 ・テーマ 「提言の方向性」</p> <p>■第3回委員会 令和5年12月1日 ・テーマ 「提言の方向性の一部修正と提言案」</p> <p>■提言記者発表 令和6年1月31日 ・出席者 正副委員長 (令和6年4月15日に筆頭代表幹事と正副委員長が、新藤 義孝 内閣府特命担当大臣と面談し、提言内容に理解を求めた。)</p> |
| 提言骨子 | <p>「三位一体の労働市場改革」が進展すれば、次の課題が顕在化する可能性がある。</p> <p>① 意欲的な働き手は大都市圏に集中し、地方の中小企業の人材確保がいっそう困難になる。</p> <p>② “ジョブ型雇用”が増えていくことから、この雇用形態での労使紛争への備えが必要になる。</p> <p>これらの課題に対応するため、次の提言をする。</p> <p>[課題①への対応] 政府は改革と並行して、地方の働き手に限り、厚生労働省が実施する「教育訓練給付」の支給率と上限額を引き上げる、また大都市の働き手が地方の中小企業に出向、転籍するのを促す制度を創設するなど、地方の中小企業の人材確保を強力に後押しする政策パッケージを策定する必要がある。</p> <p>[課題②への対応] わが国では労使ともに“ジョブ型雇用”についての知見が不足している。政府は改革と並行して、この雇用形態における労使間の紛争を未然に防ぐための指針づくりを進める必要がある。</p> |

2) デジタル田園都市国家構想を考える委員会

委員長 小川 優二
副委員長 日比野 淳

| | |
|------|--|
| 提言名 | デジタルコミュニティーの創出 ー 岐阜の中山間地域のつながりと発展を促進する ー |
| 活動方針 | 政府が進めるデジタル田園都市国家構想を中山間地域で具体的に進めるアイデアを提案する。 |
| 活動経過 | <ul style="list-style-type: none"> ■第1回委員会 令和5年7月11日 ・テーマ 「下呂市をはじめとする本県の中山間地域に対して、デジタルをどのように活用できるのか」 ■第2回委員会 令和5年9月15日 ・テーマ 「提言の方向性」 ■第3回委員会 令和5年11月21日 ・テーマ 「提言の骨子」 ■提言記者発表 令和6年2月7日 ・出席者 正副委員長 ■提言説明と要望活動 令和6年3月21日 筆頭代表幹事と正副委員長が、山内 登 下呂市長と面談し、提言内容に理解を求めた。 |
| 提言骨子 | <p>下呂市を本県の中山間地域のモデルとして捉え、当市におけるデジタル活用策を提案する。具体的には、デジタルデバインド対策を講じたうえで、医療、子育て、防災面でデジタルを活用する。これにより地域のつながりを強化してデジタルコミュニティーの創出にもつなげていく。提案する施策は次の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタル格差に対処するため、下呂市版「デジタル推進委員」制度を創設する。市内の高校生や地域外の大学生などを「デジタル推進委員」に任命し、高齢世代の住民に基本的なデジタル機器の操作を教える。 2. 医療面では、最重要課題である山間部の診療所の医療提供体制を維持するためにオンライン診療を進める。 3. 子育て面では、若い世代の都市流出を防ぐため、シニア世代とマッチングできる育児サポートのアプリを作る。 4. 防災面では、防災用タブレットを各家庭に配布し、行政と住民の双方向のコミュニケーションが可能な防災アプリを導入する。 |

3) 代表提言事業

筆頭代表幹事 中川 正之

| | |
|-------------|--|
| <p>目 的</p> | <p>経済社会にとって重要かつ緊急性の高いテーマについて会員の考えを社会に発信する。</p> |
| <p>事業内容</p> | <p>■ 「三位一体の労働市場改革に関するアンケート調査」を実施し、調査結果を公表した（令和5年9月19日）。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 調査対象 本会会員363人 * 調査方法 ファクシミリによる配布、回収 * 調査期間 令和5年7月24日～8月25日 * 有効回答数(率) 183票（50.4%） * 調査項目 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>改革の賛否／改革への期待／改革に反対する理由／改革がもたらす県経済の活性化／改革がもたらす県経済社会の変化／リスクリング（学び直し）に取り組む必要性／職務給の導入状況／労働市場改革に関して国、地方自治体への意見（自由回答）など</p> </div> <p>■ 調査結果を踏まえての所感は次の通り。</p> <p>○ 改革に「賛成する」と「どちらかという賛成する」を合わせた回答の割合は、65%に上っている。ただ、「改革は県経済社会に、特にどんな変化をもたらすか」の問いには、会員の多くが、働き手の変化として“スキルが向上するものの、大都市圏へ流出する”と見通し、改革進行後の働き手の確保に不安を感じている。</p> <p>○ 従って政府には、成長分野への円滑な労働移動だけに目を向けるのではなく、地方に優秀な働き手を呼び込む新たな政策もセットで打ち出してほしい。本会の「労働市場の流動化を考える委員会」においても、地方に働き手を呼び込むための具体策について検討していく。</p> <p>○ 改革はリスクリング（学び直し）による働き手の能力向上や企業における職務給の導入も促すが、アンケート調査結果からは、多くの会員がリスクリングに取り組む必要性を認めているものの、職務給の導入には迷い、判断を留保している様子が見える。</p> <p>○ 頻繁に起こるデジタル技術革新や労働人口の減少により、企業における雇用のあり方は明らかに転換期を迎えている。政府には、地方に働き手を呼び込む政策の実施に加え、中小企業が職務給の導入など雇用について適切な判断が行えるよう有益な情報を積極的に開示してほしい。</p> |

(4) 経済団体との交流事業

1) 第35回全国経済同友会セミナー

| | |
|----------|--|
| 開催日 | 令和5年4月13日～14日 |
| テーマ | 「経済人として安全保障にどう向き合うか」 |
| 内 容 | <p>【パネル討議】</p> <p>1日目 第1セッション：世界を取り巻く安全保障の現状と今後の国際秩序形成への課題 第2セッション：サプライチェーンにおける経済安全保障</p> <p>2日目 第3セッション：企業・経営者は安全保障にどう向き合うか</p> <p>【特別公演】</p> <p>講 師：(株)ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼CEO 高田 旭人 氏</p> <p>テーマ：「民間主導の地域創生モデルについて」～長崎スタジアムシティプロジェクトにかける思い～</p> |
| 会 場 | 出島メッセ長崎 |
| 本会からの参加者 | 10名 |

2) 第31回経済同友会中央日本地区会議

当会議は、わが国の中央地域に位置する8同友会の幹部が、交流を深めるとともに広域的テーマについて意見交換する会合。

| | |
|-------|---|
| 開催日 | 令和5年10月23日 |
| テーマ | 「カーボンニュートラルの実現に向けて～いま企業が取べき対応とは～」 |
| 内 容 | <p>【基調講演】</p> <p>講 師：(株)ウェイトボックス代表取締役社長 鈴木 修一郎 氏</p> <p>テーマ：「カーボンニュートラルの実現に向けて～いま企業がとるべき対応～」</p> |
| 参加同友会 | 岐阜県、中部、静岡、富山、金沢、福井、新潟、山梨 |
| 会 場 | 名古屋東急ホテル |

3) 岐阜県下経済三団体新春懇親会

| | |
|-----|-------------------------|
| 開催日 | 令和6年1月16日 |
| 共催 | 岐阜県商工会議所連合会 岐阜県経営者協会 |

3. 会議

1) 総会

① 令和5年度定時総会

| | |
|------|----------------------------------|
| 日 時 | 令和5年6月26日 午後3時30分 |
| 出席会員 | 265名（書面表決委任者157名を含む） |
| 議 案 | 第1号議案 令和4年度事業報告書及び財務諸表の件 |
| | 第2号議案 理事の辞任に伴う後任者選任及び増員による理事選任の件 |

② 令和5年度臨時総会

| | |
|------|----------------------|
| 日 時 | 令和6年3月27日 午後3時30分 |
| 出席会員 | 286名（書面表決委任者179名を含む） |
| 議 案 | 第1号議案 令和6年度事業計画・予算の件 |

2) 理事会

| 回 | 開 催 日 | 議 案 及 び 報 告 |
|---|----------|-------------------------------------|
| 1 | R5.5.31 | 令和4年度事業報告及び決算の件、理事候補者の件、常任幹事・幹事補充の件 |
| 2 | R5.11.27 | 中間決算の件、常任幹事補充の件 |
| 3 | R6.1.22 | 次期筆頭代表幹事の件、令和6年度事業計画、予算の件 |
| 4 | R6.3.27 | 次期理事・監事候補者選任の件、常任幹事補充の件 |

3) 常任幹事会

| 回 | 開 催 日 | 議 案 及 び 報 告 |
|---|----------|-------------------------|
| 1 | R5.12.18 | 入会の件、中間決算の件、常任幹事・幹事補充の件 |
| 2 | R6.2.19 | 入会の件、令和6年度事業計画・予算の件 |